



Smile! 2022



INTERVIEW

尊重し、
支え合える
温かな「家庭」
築きたい



Yumiko (のん)

コエール 2021 に
自分の経験をスピーチする
“イルミネーター”として参加

児童養護施設や里親など社会的養護を受けず、20歳で独立した呑ん。ブリッジフォースマイル（B4S）の「コエール2021」で、イルミネーターとして過去の自分と向き合い、新たな一步を踏み出そうとしています。

つらかった10代に
ずっと、あたためた夢

虐待を受けている時から私は、ずっと夢がありました。歌い手になることです。一番つらかった10代、日々の思いを詞に変えて歌いました。母から嫌がらせを受けながらも続けたアルバイト。その給料で買ったギター。それを手に路上ライブをしました。家族に隠れてネットや路上で音楽活動を続け、歌やピアノの練習を母に「うるさい」と邪魔さ

児童養護施設や里親など社会的養護を受けず、20歳で独立した呑ん。ブリッジフォースマイル（B4S）の「コエール2021」で、イルミネーターとして過去の自分と向き合い、新たな一步を踏み出そうとしています。

つらかった10代に
ずっと、あたためた夢

虐待を受けている時から私は、ずっと夢がありました。歌い手になることです。一番つらかった10代、日々の思いを詞に変えて歌いました。母から嫌がらせを受けながらも続けたアルバイト。その給料で買ったギター。それを手に路上ライブをしました。家族に隠れてネットや路上で音楽活動を続け、歌やピアノの練習を母に「うるさい」と邪魔さ

それでも、負けじと続けました。

東京に出て自由になってからは、家族が嫌って、私に与えようとしたものも貪欲に求めました。働くことや冒険すること。母と祖父母がひどい目に遭いました。

危険な目に遭いました。

音楽で出会う人たちも良い人ばかりではないし、悲しいことも体験しました。でもすべて自由だからこそだと、家を出て良かったと、心底思いました。選択肢があることが



職業：会社員
趣味：歌とクラフトビール
笑顔のもと：休日のおうち時間
最近夢中になっていること：
稼ぐことと貯金！

Bridge for Smile

すぐこうれしかったんです。
シンガーソングライターとしていろいろなところに出かけ、

素敵な大人たちと出会い
たどり着いた「家族」

うどうしよう、漠然とした不安がずっとありました。

SNSで自分のことを発信していたら、B4Sから声が掛かり、「コエール2021」で話すことになりました。最

初は、なかなか思い出せませんでした。忘れようとしているんです。「過去の出来事はなかったことにしよう」と。一生

懸命、記憶をたどりながら、こみ上げてきたのは「怒り」と「悲しみ」でした。でも、自分に何があつたのか、整理するうち、あのころを客観的に、そして俯瞰して見ることができます。

今は彼と同棲しています。密な人間関係が苦手な私でも、あきれず、見放さずに寄り添ってくれる彼です。家

と他者を尊重して支え合えます。行きあつた海外にも行きました。ずっと憧れていたロンドン。そこで出会い

った人たち、文化。世界の広さを経験し、今までの自分の世界がいかに小さかったかを感じさせられました。お金が足りず、そんなに満喫はできませんでしたが、それでも「今までもっと満喫できるような大人になるために頑張る！」

と、より大きな目標を持つことができました。

そんな時に出会ったのがクラフトビールです。見ず知らずの場所で見ず知らずの人たちと仲良くなつて教えてもらつた異国のお酒。帰国してから日本でもあの味が味わえる

いたと思つて、近所にできたお店に足を運びました。その後クラフトビール専門店で勧められました。

私は、母みたいにはならない。そう誓つて、これからも生きていきたいです。

10代のころは大人になることや将来に不安しかありませんでした。子どもや家族を持つことも、考えられません

ました。母と同じようになつた。母と同じようになつた。

私は、母みたいにはならない。そう誓つて、これからも生きていきたいです。

10代のころは大人になることや将来に不安しかありませんでした。子どもや家族を持つことも、考えられません

ました。母と同じようになつた。

私は、母みたいにはならない。そう誓つて、これからも生きていきたいです。



コロナ緊急支援として、備蓄できる 食料品や医療品を送りました



新型コロナウイルスの流行「第5波」では、B4Sが支援している若者からも「コロナに感染した」という声が増えました。そこで、コロナにかかり、濃厚接触者になつたりした時のために、食料品などの備蓄品を送付しました。

B4Sと直接つながっている若者に加え、全国の児童養護施設などに呼びかけ、希望のあつた521名に送りました。複数名分の支援品を児童養護施設に送り、若者に出身施設に取りに行ってもらつたケースもあり、支援品が施設と若者とを繋ぐきっかけにもなりました。



＜支援品を受け取った若者から届いたお礼の一部をご紹介します＞

- コロナにかかったときの対策が書いたある紙も入っていて助かりました。
- ワクチンの副反応で発熱し、外出ができず困っていたところに支援品が届き、大変助かりました。
- 熱が出て心細かったのですが、自分にも助けてくれる人がいるとわかり、感動しました。



本支援は、昨年実施した「コロナ緊急支援」で皆様からお預かりしたご寄付を活用しました。ご支援いただいた皆様には、改めて感謝申し上げます。どうもありがとうございました。



B4S事務局だより

児童養護施設の職員から転職して7年が経ちました。施設の中での支援に限界を感じ、社会にもっと働きかけたいという気持ちから、入職当時は企業渉外を担当していましたが、現在は子どもたちを直接支援する役割を担っています。

入職時一番驚いたのは、社会の中にこんなにも支援したいと思ってくださる方が多いことでした。子どもたちに「直接顔を合わせなくても応援してくれる方がたくさんいる」ということを伝えるのも、私の役目だと思っています。



伊藤翔平
(いとう しょうへい)



つながり続ける B4Sの自立支援プログラム

「巣立ち後の生活」を支援

巣立ちプロジェクト	高校3年生向け一人暮らし準備セミナー
トドケン	ポイントをためて生活必需品をそろえる
居場所事業	身近な理解者と繋がれる＆いつでも立ち寄れる
アトモプロジェクト	同じ境遇の仲間と集うイベント
自立ナビゲーション	ナナメの関係で気軽に話せる個別サポート
奨学金支援プログラム	学費の不安解消と卒業まで定期的な面談を行う
ライテミル	複数の就業体験の後で就職先を決める就活サポート
スマイリングプロジェクト	社会人と一緒に住むシェアハウス事業

「巣立ち前の準備」を支援

自立支援セミナー	社会人から楽しく学び巣立ちの不安を解消する
ジョブプラクティス	働くイメージを描く!日職業体験
インターン	数日間の就労体験で自分の興味や得意を知る

啓発プログラム

コエール	親を頼れない経験を若者たちが語るスピーチイベント
------	--------------------------